

厚生労働省 三重労働局発表

令和元年8月29日(木)

担 当	厚生労働省三重労働局職業安定部
	職業安定課長 小西 克明
	職業安定課長補佐 東 久文
	地方労働市場情報官 吉原 健一
	電話 059-226-2305

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(令和元年度第2・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和元年度第2・四半期(令和元年7月～9月)実績見込み及び次期(令和元年10月～12月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が28.3%で増加、「減少」が23.3%で減少。D I(「増加」-「減少」)は5.0。
前期と比べ16.6ポイント上昇。次期見通しは▲10.0で下降予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が20.6%で増加、「減少」が31.7%で横ばい。D I(「増加」-「減少」)は▲11.1。
前期と比べ6.3ポイント上昇。次期見通しは▲14.3で下降予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が23.3%で横ばい、「減少」が23.3%で増加。D I(「増加」-「減少」)は0.0。
前期と比べ1.6ポイント下降。次期見通しは▲3.4で下降予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が35.5%で11.3ポイント減少。「ない」は45.2%で8.1ポイント増加。
D I(「ある」-「ない」)は▲9.7で19.4ポイント下降。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」が増加、「やや過剰」が増加、「不足」が横ばい、「やや不足」が減少。
D I(「過剰」-「不足」)は▲25.8となり、4.1ポイント上昇(不足判断が減少)。
次期見通しは▲29.4で「不足」判断は増加の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所は7事業所(11.3%)で、前期の5事業所(8.2%)から増加。

○資料

別添 「令和元年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
 - ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
 - ・調査時期 令和元年度第2・四半期実績見込み及び次期（令和元年度10月～12月）見通しについて
 - ・モニター内訳 建設業2、製造業48、運輸業2、小売業7、サービス業等5、事業主団体等8
 - ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体
- （注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

令和元年度 雇用情報モニター報告集計

令和元年度 第2・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

令和元年度第1・四半期（31年4月～元年6月 以下前期）においては、多くの指標のD I（「増加」－「減少」）はマイナスとなりましたが、元年度第2・四半期（元年7月～9月 以下今期）においては、受注・生産動向についてのD Iはプラス、企業収益・操業動向についてのD Iは多くがマイナスとなりました。

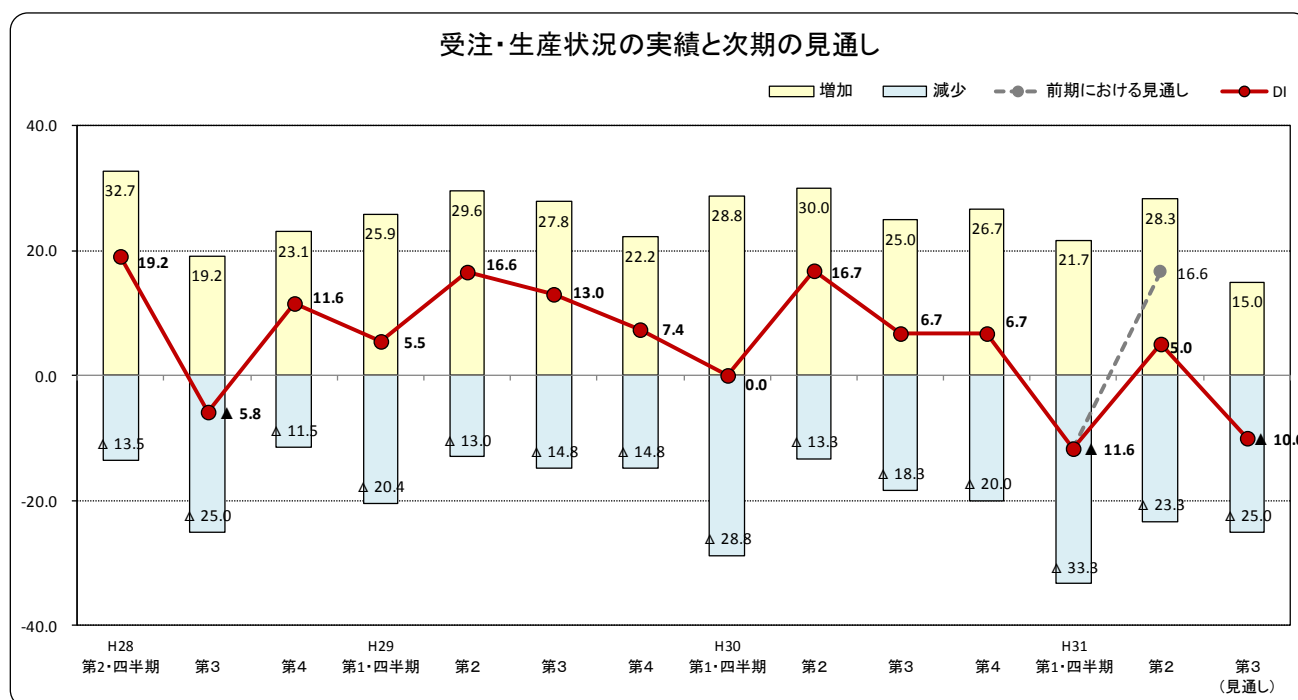
次期の予想においては、多くの指標で下降の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が28.3%、「減少」が23.3で、D I（「増加」－「減少」）は5.0で前期と比べ16.6ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

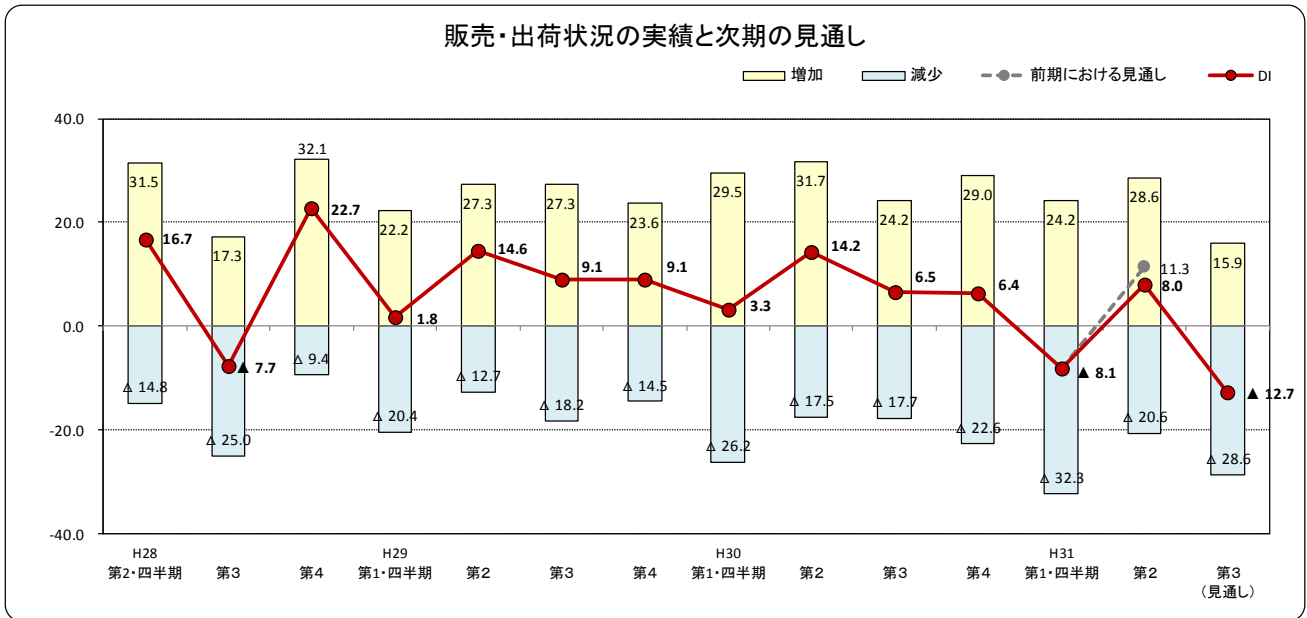
次期の見通しについては、D Iは▲10.0で、下降する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が28.6%、「減少」が20.6%で、D I（「増加」－「減少」）は8.0となり、前期と比べ16.1ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

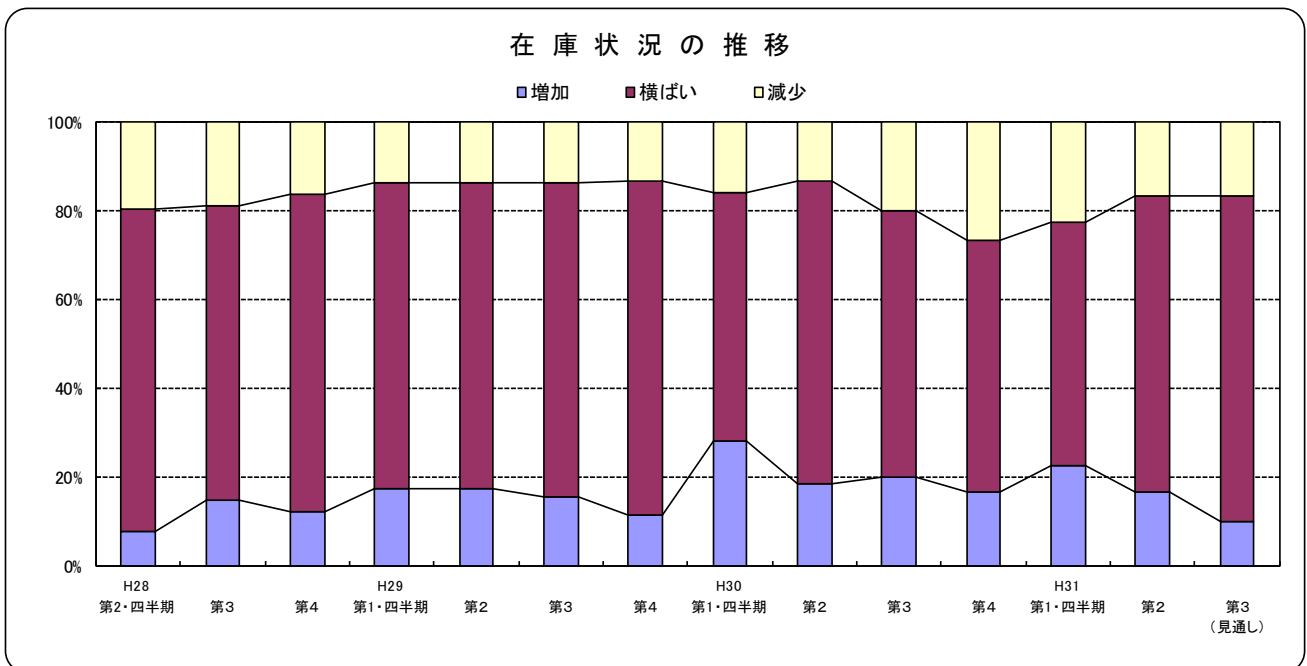
次期の見通しについては、D Iは▲12.7で、下降する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が減少、「減少」が減少、38期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「横ばい」が増加し、「増加」が減少する予想となっています。

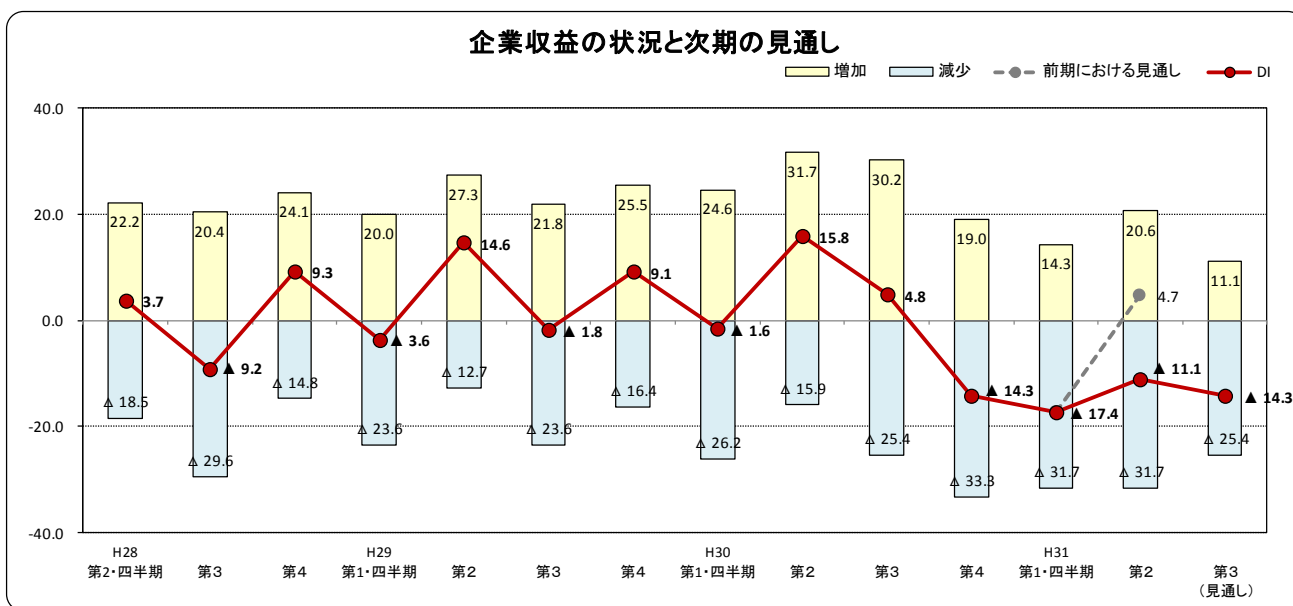


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が20.6%、「減少」が31.7%で、D I（「増加」－「減少」）は▲11.1となり、前期と比べ6.3ポイント上昇したものの、3期連続でマイナスとなりました。

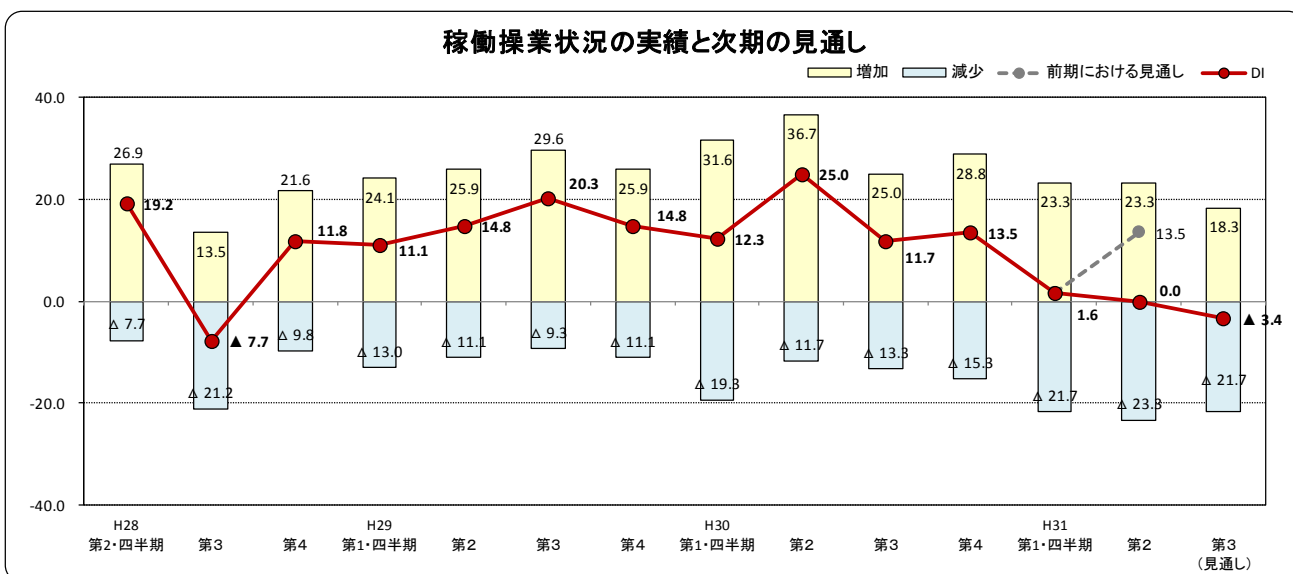
次期の見通しについては、D Iは▲14.3で、下降する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

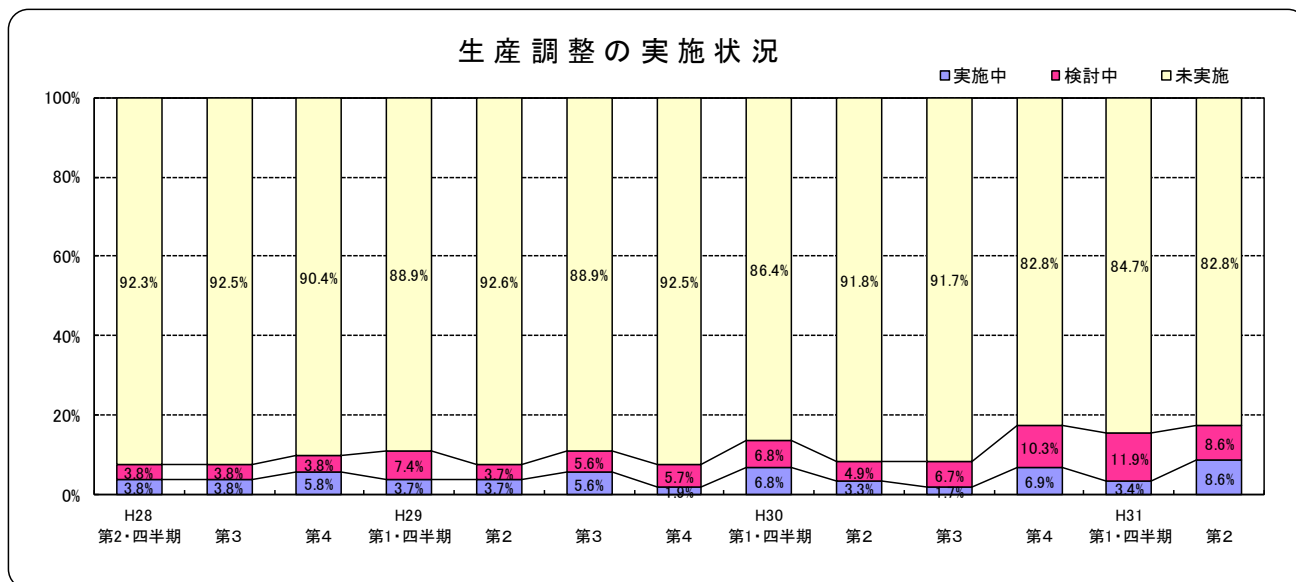
今期の稼働操業状況では、「増加」が23.3%、「減少」が23.3%で、D I（「増加」－「減少」）は0.0となり、前期と比べ1.6ポイント下降しました。

次期の見通しについては、D Iは▲3.4で、下降する予想となっています。



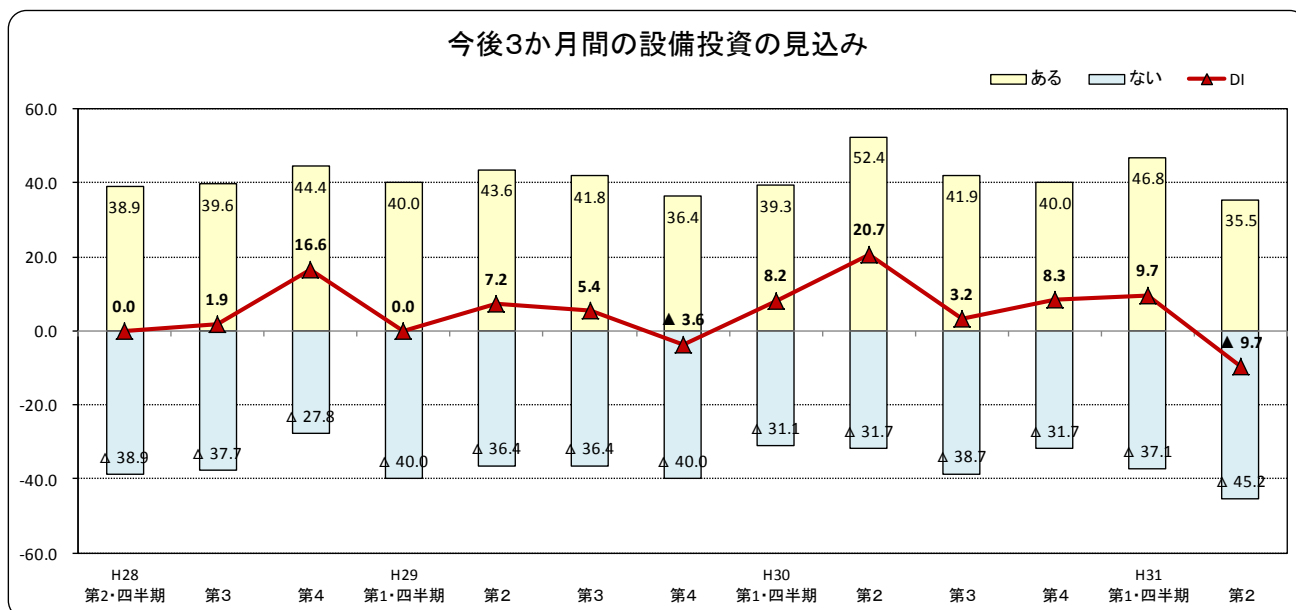
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は82.8%で前期と比べ1.9ポイント減少、「検討中」は8.6%で3.3ポイント減少、「実施中」は8.6%で5.2ポイント増加となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は35.5%で前期と比べ11.3ポイント減少、「ない」とする事業所の割合は45.2%で8.1ポイント増加、D I（「ある」－「ない」）は▲9.7となり、前期と比べ19.4ポイント下降しました。

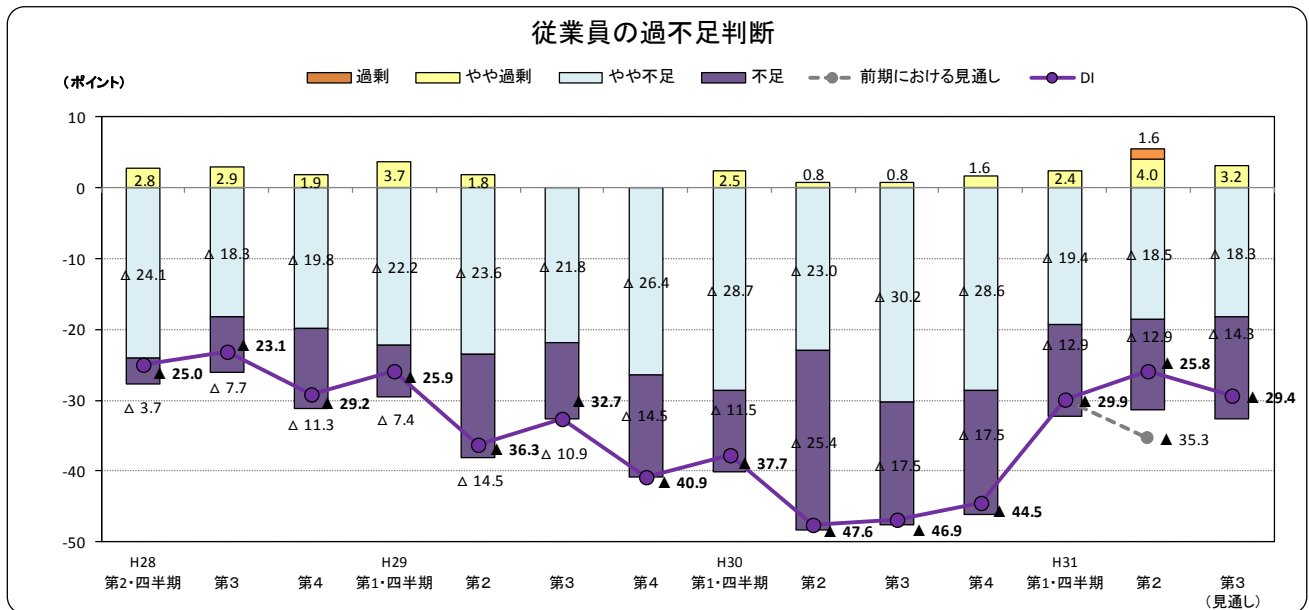


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」は1.6ポイントで1.6ポイント増加、「やや過剰」とする事業所は4.0ポイントで1.6ポイント増加、「不足」は12.9ポイントで横ばい、「やや不足」とする事業所は18.5ポイントで0.9ポイント減少したため、D I（「過剰」-「不足」）は▲25.8となり、前期より4.1ポイント上昇（不足判断が減少）したものの、26期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

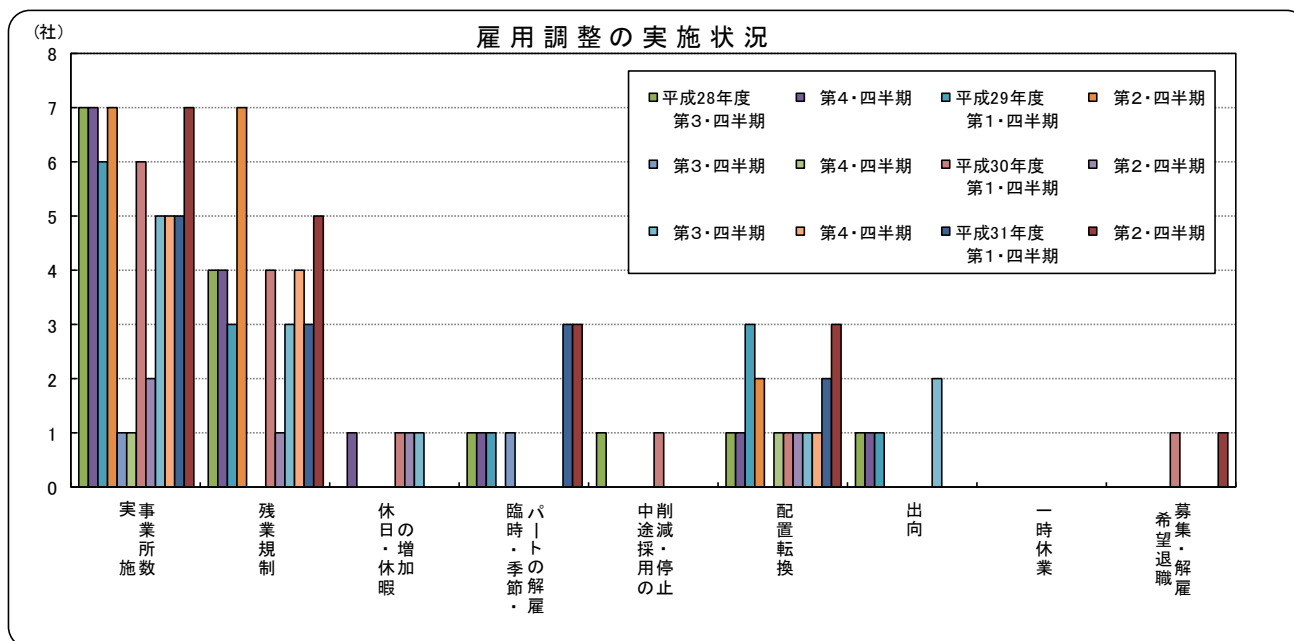
次期の見通しについては、D Iは▲29.4で、「不足」判断は増加の予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は7事業所（11.3%）で、前期の5事業所（8.2%）より2事業所の増加となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成28年度 第3・四半期	51	43	1	7	4	0	1	1	1	1	0	0
第4・四半期	53	45	1	7	4	1	1	0	1	1	0	0
平成29年度 第1・四半期	51	42	3	6	3	0	1	0	3	1	0	0
第2・四半期	53	45	1	7	7	0	0	0	2	0	0	0
第3・四半期	55	52	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
第4・四半期	53	52	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
平成30年度 第1・四半期	60	54	0	6	4	1	0	1	1	0	0	1
第2・四半期	62	58	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0
第3・四半期	60	53	2	5	3	1	0	0	1	2	0	0
第4・四半期	59	53	1	5	4	0	0	0	1	0	0	0
平成31年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1



<主なコメント>

- 受注減少傾向は続いており、操業確保を検討中。（製造業）
- 消費税の引き上げで非常に不安である。（小売業）
- 生産量を減少させて在庫の増加を防止している。（製造業）
- 働き方改革推進に向けて有給取得を促進している。（製造業）
- 米中貿易摩擦の長期化により、自動化ニーズへ及ぼす影響が業界の業績に表面化してきた。（製造業）
- 最低賃金上昇や派遣単価の上昇により労務費が経営を圧迫している。（製造業）
- 収益は厳しい状況が続いており、経費圧縮の積み上げを実施している。（製造業）
- 最低賃金の上昇が中小零細企業の経営を圧迫している。（事業主団体）
- 夏物商品の出荷最盛期であるが、天候不順により前期も思った程、売れなかった。（製造業）
- 新規の立ち上がり、客先の好調な売上げにより、生産数増加（製造業）
- 次期については、消費増税の反動も懸念され厳しい状況を予想。（製造業）
- 秋以降より消費税増税の影響次第で雇用調整を実施検討も必要となる。（製造業）